

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2024~2025年度 No.308

8 月報

那須クラブ会長 主題

ユースと共に那須YMCAの活動を探る



強調月間：戦略2032

今月の聖句 詩編66：20

ほむべきかな。神。神は私の祈りを退けて、御恵みを私から取り去らなかった。

8月第1例会（納涼例会・河野さんの祝賀会）

日時：8月23日（土）午前11時30分～

場所：原田 明子メン宅

塩谷郡塩谷町大字田所2490

内容：フローレンスナイチンゲール記章を授与をされた、河野順子さん（元那須ワイズのメンバー）を迎えて、受賞の祝賀会と40年前の日航機事故の当時に看護師として、従事された時のお話を聞きます。ぜひ多くの皆さんの参加をお待ちしております。

司会 副会長 田村 修也

開会点鐘・挨拶

会長 村田 榮

ワイズソング斉唱

ワイズの信条の斉唱

ゲスト・ビジター紹介

会長

聖書朗読・祈禱

司会者

会食

祝賀会

記念品贈呈

那須ワイズ 原田 明子メン

河野さんよりのお話

質疑応答

報告事項 YMCA・ワイズ

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

会長 村田 榮

会費 メン・メネット 1,000円

申込は村田まで。 〆切日 8月20日（水）

食事は、天井をメインにしワイズのメンバーは一品持ち寄りで行う。

2025~2026年度 主題

国際会長：(IP) エドワード・オン (シンガポール)

『信念、愛、行動』

アジア太平洋地域会長：(AP) 田上 正 (熊本むさしクラブ)

『信念と愛を持って行動しよう!』

東日本区理事 (RD)： 山下 真 (十勝クラブ)

『ワイズのらしさ再発見』

北東部長： 三田 庸平 (もりおかクラブ)

「ユースと共に明るい未来を」

クラブ役員

会長：村田 榮

副会長：田村 修也

書記：藤生 強

会計：鈴木 保江・村田 榮

担当主事：武田 将吾

ブリテン：田村 修也・村田 榮

7月例会データー（出席率：83.3%）

メンバー5名、メネット2名、ユースリーダー 7名

ゲスト5名、（広義会員1名）

メイキャップ

8月 Happy Birthday

9月例会（納涼例会）

日時：9月27日（土）午前11時30分～

場所：hikari no cafe 蜂須

北東部大会

日時：未定

場所：福島？

9月役員会（第2例会）

日時：8月23日（土）

場所：原田ワイズ宅

夏こそ森へ行こう

現職の頃、ある土曜日の午後に帰宅の電車を駅の待合室で待っていた時のことです。待合室のテレビを何気なく見ていたのですが、つい番組に引き込まれてしまいました。それは女性アナウンサーと高齢の男性のインタビュー番組でした。その男性は小学生の頃、ある草に興味を持って受持の先生にこの草の名前を教えてくださいと頼んだそうです。先生は「これは草だ、こんなことよりももっと勉強しろ」と言ったそうです。けれどもどうしても名前が知りたいので、図書室にある植物図鑑を書いた牧野先生なら教えてくれるだろうと封筒に入れて送ったそうです。しばらくして牧野先生から「これはハキダメギクです。若し君がもっと植物の名前が知りたいなら、貨車いっぱいおっくって来てもみんな教えてあげます」と返事が来たそうです。感激した少年は父親に修学旅行のために積んでいたお金で牧野植物図鑑を買っていいか、修学旅行には行かなくてもいいから」と頼んだので。父親も父親、許してくれたのです。それで、その人は修学旅行にはいかなかったそうです。そして、気が付いてみたら牧野富太郎先生の後継者の一人になっていたそうです。少年の日の出会いという者は、その人の人生を変える力を持っていることを知らされました

私は、現職時代に国際青年年を記念して実施された栃木県青年の船の役員として、県内市町村推薦の青年活動のリーダーたちと共に、沖縄・フィリピンへ17日間の洋上の研修旅行を致しました。

担当は、広報と海のゼミナール担当でした。今まで森林土木業務についていましたが、翌年の人事異動で、新たに青少年の森林・自然の研修を行う青少年の森と少年自然の家を建設するため、県民の森に勤務となりました。ここで5年間、建設と運営、指導教育を行いこの5年間は誠に得難い経験をさせてもらいました。BS活動もレク活動も特定の時期にしか森に出ませんでしたが、この5年間は一年を通して自然の仲で過ごすことが出来ました。自然の素晴らしさは1年を通して共にいないとその本当の姿は知ることが出来ないことを知らされました。冬から目覚めていく姿、一刻も休むことなく変わり続けるその姿、学校の授業として来る青少年と共にその季節でなければ知ることが出来ない自然の姿との出会いを満喫してもらいました。そのために、県民の森の自然を堪能できるように、遊歩道も10分間コースから半日コースまで、いつ来ても楽しめるように整備しました。勿論夏はキャンプ場の開設です。必要な設備を整え、固定式と持ち込みフリーのエリアも設定しました。ある夏には、東京からのYMCAのキャンププログラムも行われました。

森に入れば木々に囲まれます。木の名前を憶えてもらえば、森がもっと身近になります。

その一つの方法として、追いかっけこの歌を作りました。ウッディランドという歌です。①ウッディランドへ行ってみよう沢山の木が僕らを待っている。スギ・ヒノキ・アカマツ・カラマツ・モミ・トウヒ針葉樹②ウッディランドに春風吹けば木々は花咲き大地はよみがえるブナ・イヌブナ・コナラ・ミズナラ・ミズキ・キブシ広葉樹③ウッディランドの夏はさわやか谷の流れに小鳥が歌うトチ・カツラ・カシワ・リョウブ・キハダ・シラカバ・木陰涼しい④ウッディランドの秋はあでやか澄みゆく空にモミジが映えるカジ・ハウチワ・ウリ・イロハ・ウリハダ・イタヤみんなかえで⑤ウッディランドの冬は静か落葉優しく大地を包む眠れ森よ眠れ木々よ眠れ安く春が来るまで⑥ウッディランドは県民の森木々は大事な生きる仲間育て苗木大きく伸びろ森になって皆を守れ。という歌です。そして同じように、鳥の名前を知ってもらうバーディランドも作りました。夏こそ自然と出逢う絶好の時です。一人でも多くの青少年に野外活動の楽しさを知ってもらいましょう。そして私たちも。



7月例会（キックオフ・総会・会長交代式・入会式）於：中華料理 龍鳳園 2025.7.19

7月例会(キックオフ・総会)報告

日時：2027年7月19日(土)午前11時30分
場所：中華料理 龍鳳園
出席者：田村、村田、原田、藤生、武田の各メン、
藤生、村田の各メネット、ユースリーダー1名、ゲ
スト2名：計10名

「総会・会長交代式・入会式(歓迎会)」をテーマに、
ワイズ例会の会場としていつもお借りしている西那
須野教会から歩いて5分くらいのところにある「中
華料理 龍鳳園」(那須塩原市西大和)にて、昼食を
頂きながら行いました。

大きな円卓を囲み、出席者全員の顔が見える中で、
始めは各自の近況を報告しました。仕事のこと、趣
味のこと、健康のことなど、それぞれが気に留めて
いることなど垣間見ることが出来ました。また台湾
に帰られた張ウエリワイズメンの様子も報告され、
少し体調を崩されているとのことでした。久々の台
湾に慣れるためゆっくりすればと思いますが、実直
な張さんなのですぐに仕事に就いたようで、少し無
理されたかなと思いました。そのため3月例会(送
別会)にて今秋実施を計画した「台湾例会」は来年
へ先送りになりそうとの報告がありました。張さん
との再会はお預けです。



その後には懇談
をしながらの食
事を進めまし
たが、気が付
けば会場使用終
了時間まで残り
30分となり、そ
こからは簡単！
に「2024－
2025年度事
業報告及び会計報告」「2025－2026年度事業
計画及び予算計画」の説明と承認、「会長の交代式」、
担当主事となった

武田とちぎYス
タッフの「入会
式」を続けて行
いました。

最後はちょっと
バタバタしまし
たが、ゲストを含
め顔なじみのメン
バーでしたので、
楽しいひと時を
持つことが出来
ました。

2025－2026年度も那須ワイズらしい活動
を行えたらと願っています。



第2例会(役員会)報告

日時：7月10日(木)午後4時30分～
場所：田村会長宅、
出席者：田村、村田、武田各メン、田村、村田メ
ネット

1. 8月例会について

8月23日(土)に行う。河野さんの受賞のお祝い
会を兼ねる。記念品は、原田メンに一任。リーダー
の参加も歓迎。

2. 9月例会について

9月27日(土)に行う。場所は、hikari no cafe
蜂須。昼食をとり、その後エルム福祉会のお話を聞
く。会場の予約等は、田村副会長に依頼。

3. 10月例会について

アジア学院の収穫感謝祭に参加する。10月18日
(土)・19日(日)の両日。準備会は、17日(金)
の午前中に田村副機長宅にて行う。

開拓と信仰の姿「開拓と西那須野教会」-(10)

副会長 田村 修也

屋敷内には、梅、柿、栗をはじめアンズ、スモモ、
桃の類まで、それぞれ何十本となく植えられていま
した。春になると梅の並木道がそれは美しかったそ
うです。柿や梅は毎年業者を呼んで売るほどであっ
たそうですが、桑畑の肥料をみんな吸い上げていた
ようです。

明治30年に撮影された写真があり、開拓7年目
の弥三郎一家の様子がよく分かります。

明治39年(1906)弥三郎52歳の時妻まつ子
さんが東京の親戚を訪問中に召されました。51歳
でした。まつ子さんは16歳の時島村の田島武平に
率いられて、宮中紅葉山養蚕所に奉仕に出ています。
その時の状況が写真資料にあります。前列左から4
番目まつとあります。この2年後18歳で弥三郎と
結婚して6男5女の母となりました。

弥三郎の孫の田嶋篤次さんの奥さんの京子さんの
手記には、島村から東京へ行くには村の真ん中を流
れる利根川を船で下って、関宿で一泊して、運河の
江戸川を東京湾に出たそうで、関宿で豚を見た事が
大変珍しかったそうです。御養蚕所に明治天皇や皇
后がお出でになると、お帰りにはリーダーの多加女
(西の家のおばあ様)がお見送りして、帰りにはお
菓子とかお魚を頂いて来られたそうです。と書かれ
ています。篤次さんと京子さんは私たち夫婦の仲人
さんです。

明治42年(1909)弥三郎55歳の時に、香
坂えつと再婚しました。えつさんは米沢上杉藩の出

城小国城の城代家老香坂頼母の娘でした。香坂家は一家をあげて明治25年に那須野に移り、狩野村三島に住んでおりました。三島農場の管理者の田上貞質は兄弟で、西那須野教会百年史の絵をかいた田上吉也は、三島村村長田上貞質の長男で弥三郎の甥とあり、叔母に連れられて教会に行く様子が書かれています。この叔母がえつさんですから、貞質はお義兄さんということになります。

田嶋京子さんの手記には、元東京府知事の宇佐美勝夫氏はおばあさまの従兄弟だそうおじい様と二人で東京へ行かれた時に泊って来られ、奥様へのお礼状は私が代筆したこともありました。と書かれています。

ついでとなりますが、米沢藩の家老職千坂一族も西那須野に移住しており、製糸工場の事業を通じて香坂、千坂両家と田嶋一族との付き合いも生れてきていて、弥三郎は千坂製糸工場の従業員にキリスト教の伝道を行っていたということです。この千坂製糸工場が後の県是製糸工場になって行きます。弥三郎は大和製糸工場の設立にも深い関わりを持ち、経営陣の厚い信頼を得ていたこともあって、大和製糸工場の従業員にも伝道を行い、西那須野教会に受け継がれ昭和33年11月15日土曜日、工場閉鎖となったばかりの飯島製糸工場の講堂をお借りして、賀川豊彦を迎えて西那須野教会移築2周年記念特別集会開催いたしました。先生は高齢のうえ、病を押して、愛弟子福本治夫牧師の要請に応じて、西那須野の為においでくださったのです。賀川先生は以前にも、田嶋董さんの依頼により農業協同組合での講演のために西那須野にお出でになっています。

余談になりますが、その時私は奏楽を担当して、次の日曜日の西那須野教会の礼拝の中で、私は賀川豊彦から洗礼を受けました。その数ヵ月後賀川先生が天に召されましたから、私が賀川先生から洗礼を授けられた最後の者ではないかと思っています。(以下次号へ続く)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
認定こども園 西那須野幼稚園
園長・理事長 福本 光夫

小学校の学習指導要領には、「幼児教育を基礎として」という文言があります。以前から、幼児期の「主体的な遊び」に基づく教育と、小学校における「教科学習」の間に教育的なギャップがあることが指摘されてきました。このため、小学校入学直後の1年生がつまずきやすい現状にあります。その課題に対して、幼児教育側からの「アプローチ・プロ

グラム」、小学校側からの「スタート・カリキュラム」ということで進めてきました。現在では、両者をつなぐ「架け橋プログラム」ということで、よりスムーズな幼小接続を目指す取り組みが進められています。

先日、ある小学校において、校長先生、民生委員・児童委員、そして保護司による情報交換会が開かれました。そこで、校長先生から「1年生が月曜日に心理的に無理なく登校できるよう、授業時間を4時間に設定していること」や、「ゴールデンウィーク明けや夏休み明けに、観劇など楽しい行事を入れている」というお話を伺いました。子ども達の心に寄り添い、無理のない学校生活を支える柔軟な工夫に深く感銘を受けました。

一方、子ども家庭庁の制度において、幼保連携型認定こども園では、2号・3号認定の子ども達の保育時間が標準で11時間と定められています。これは、保護者の通勤を含む就労時間に合わせた制度設計であり、子ども中心の文部科学省所管の幼稚園とは背景となる制度や文化が異なります。しかしながら、子ども達の最善の利益を中心に据えたとき、制度運用の焦点が「就労支援」や政治献金の多い私立保育所・小規模保育の利益確保に極端に偏っているように見える現状には、懸念を抱かざるを得ません。例えば、「療育と保育の一体化」は、児童発達支援事業所と保育所においては可能ですが、幼稚園や幼稚園型認定こども園では実施出来ません。また、来年度から本格実施される「誰でも通園制度」も、大切な親子の愛着形成の視点が見えづらく、むしろ保育園の空きクラス対策と受け取られる側面があります。

今、真に求められているのは、子ども一人ひとりに丁寧に関わるための環境整備です。そのためには、一クラスあたりの子どもの人数を見直し、保育者の配置基準を「加算」で対応するのではなく、制度としてしっかり保障する必要があります。これは、保育の質の向上のみならず、保育者の心身の健康を守り、保育という仕事に希望を見いだす人が増えていくことにもつながるはずです。

子ども達の育ちにとって何が最善か。この視点を常に大切にしながら、今後も地域・家庭・行政が一体となって支えていけることを願っています。

障害者福祉の基本的な考えと方向 楡井一俊

副会長 田村 修也

ある著名なボランティア活動家のひとりだが、「わたしは障害者福祉のことはよく解らない。それはかぎられた一部の人の問題でしょう。それに較べると、

老人福祉の問題は、誰もが年をとっていく共通の問題だから、わたしは、それに強い関心をもってとり組んでいる」と言いました。

障害者福祉の現状は、このボランティアの言うほどの現状であります。つまり、障害者福祉は一部の人間だけの問題で、私達に特に関係ないという現状こそ、この国の社会の貧しい認識に他ならないのであります。

老人福祉は、これからの高齢化社会を考えると、避けて通れない問題であることは事実です。現に、老人の施設や病院が次々に造られています。

そうした施設や病院に行き行って感ずることは、年をとっていくと、まず、体が不自由になっていく人が多いということです。実際、車椅子の人達が目につきます。また、眼が見えない、耳が聞こえない、ボケてきた。寝たきりになったなどの障害も多くなっています。こうしたお年寄りの生活をどうするかは、ゆるがせに出来ないことです。

しかし、このような老人の問題は、つきつめていくと全部、障害者の問題です。眼が見えない、耳が聞こえない、手足が不自由、寝たきり、知能が低下するなどは皆、障害者福祉の問題です。ただ、それがその人において、早く障害者になったか、遅くなったかだけの話です。

老人福祉と障害者福祉は、別個の問題ではなく、共通する面が多く、障害者福祉のノウハウは、老人福祉に大いに活用されるべきだし、老人福祉のノウハウは、障害者福祉の分野に還元されるべきであります。

特に、国際障害者年のテーマであった「完全参加と平等」の理念に基づく、ノーマライゼーション、インテグレーションの考え方や、施設福祉、在宅福祉、地域福祉等の施策には、共通する分野が多いのです。この機会に、できるだけ多くの人に、「障害者福祉」について知ってもらい、共に考えていただこうと勇を鼓して津出を取った次第であります。

「福祉」と「文化」

日本国憲法第二十五条に、「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」とあります。

そして、その公的責任については、昭和二十二年に児童福祉法、昭和二十四年に身体障害者福祉法、昭和二十五年に生活保護法、同じく精神衛生法、昭和二十六年に社会福祉事業法、昭和三十一年に精神薄弱者福祉法、昭和三十三年に老人福祉法、昭和三十三年に母子福祉法、昭和四十年に母子保護法、昭和四十二年に公害対策基本法、昭和四十七年に勤労

婦人福祉法が制定され、明確に行政上の責任が規定されておりました。

一方、「福祉」という言葉は、戦後、占領軍によってもたらされた welfare という概念の訳語として、憲法第二十五条に使われたのが嚆矢と言われている。

私が以前米国を視察した際、合衆国政府の機関に日本の厚生省と文部省を合わせたような建物があった。The department of health・education and welfare と書いてありました。

大辞典をひくと、福は、サイワイ、シアワセ、ヨロコビ、善キ祥、吉事、とあり、祉は、サイワイ、ヨシ、となっています。

(楡井一俊著 次号に続く)

YMCAだより

【サマープログラム野外炊飯リーダートレーニング】

7月6日(日)に宇都宮市の冒険活動センターでサマープログラムに参加するリーダーを対象に野外炊飯リーダートレーニングを行いました。夏のキャンププログラムや野外炊飯プログラムに向けて、正しく安全な薪割りの方法や火付け方法の確認をしました。屋外での調理は家庭での調理とは違った技術が求められます。子どもたちが怪我なくプログラムに望めるようにリーダー・スタッフで丁寧にトレーニングを実施しました。



【とちぎYMCA・那須YMCAの8月の予定】

8/6(水) - 8(金) ふくしま湖畔キャンプ
8/7(木) - 14(木) フィリピンスタディーキャンプ
8/22(金) - 24(日) 日光ほしぞらキャンプ
8/26(火) - 27(水) さしまチャレンジキャンプ

